

SCSI アレイコントローラカード PG-142E3 ご使用前に

このたびは、弊社の SCSI アレイコントローラカードをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、本製品に添付の『SCSI アレイコントローラカード PG-142E3 (MegaRAID SCSI 320-2) 取扱説明書』の記述を補足しております。本製品をご利用になる前に必ずお読みください。

2005 年 6 月
富士通株式会社

1 取扱説明書補足

ここでは、『SCSI アレイコントローラカード PG-142E3 取扱説明書』を追記・訂正します。

1.1 デバイスドライバと Global Array Manager (GAM) について

本製品には、デバイスドライバのフロッピーディスクと Global Array Manager CD-ROM が添付されています。本製品添付の媒体を使用して、デバイスドライバ / Global Array Manager のインストール(またはアップデート)を行ってください。



- ▶ PRIMERGY TX200FT S2 をご使用の場合は、CoServer1 / CoServer2 それぞれについてアップデートを行ってください。

■デバイスドライバのインストールについて

デバイスドライバのインストール方法については、本製品の取扱説明書をご参照ください。



- ▶ PRIMERGY TX200FT S2 をご使用の場合は、以下の点にご注意ください。
 1. ディスクミラー処理中ではないことを確認してください。ディスクミラー処理中に CoServer1 または CoServer2 のみを再起動すると、データ損失のおそれがあります。
 2. CoServer1 において、デバイスドライバを更新後にリブートを要求されますが、キャンセルしてください。
 3. CoServer2 において、デバイスドライバを更新後にリブートを要求されますが、キャンセルしてください。
 4. CoServer1 / CoServer2 においてデバイスドライバの更新が完了したら、FT システム全体を再起動してください。詳細な手順に関しては、サーバー本体添付の「PRIMERGY ドキュメント&ツール CD」内『ユーザーズガイド』の「3.1 FT システムの起動と終了」を参照してください。

■Global Array Manager のインストール

Global Array Manager のインストール方法については、「SCSI アレイコントローラカード ドキュメント&ツール CD」内の『PG-142E3 Global Array Manger インストール方法』をご参照ください。

1.2 Linux 使用時の補足事項

Global Array Manager Server (gam-server) をインストールした場合、システムの再起動を行う前に、`/etc/sysconfig/gam` ファイルの以下に示す 3 行の編集を行ってください。ファイルの編集が完了したら、システムの再起動を行ってください。本変更により、各イベントが GAM クライアントに通知されるようになり、`/var/log/gamevlog.log` にイベントログが書き込まれるようになります。

[`/etc/sysconfig/gam` ファイルの編集]

変更前:

```
START_GAMEEVENT=n  
GAMEVENT_OPTIONS=""
```

変更後:

```
START_GAMEEVENT=y ← "n"を"y"に変更します。  
GAMEVENT_OPTIONS="-h IP アドレス" ←
```

GAM クライアントがインストールされている管理用 Windows システムの IP アドレス

変更前:

```
START_GAMEVLOG=n
```

変更後:

```
START_GAMEVLOG=y ← "n"を"y"に変更します。
```

1.3 ハードディスクの取り付け／取り外しについて

システム動作中に、ハードディスクの取り付け／取り外しを行う際は、以下の点にご注意ください。



- ▶ ハードディスク増設後に、容量拡張やホットスワップ設定などの操作を行う際は、ハードディスクを取り付けたあと 60 秒以上待ってから行ってください。
- ▶ 複数のハードディスクを取り付け／取り外しをする際は、1 台ずつ行ってください。ハードディスクの取り付け／取り外し後、必ず 60 秒以上待ってから、次のハードディスクの取り付け／取り外しを行ってください。

搭載したハードディスクが正常動作可能となるまでに、最大 60 秒必要とするためです。動作が安定する前に容量拡張等の操作を行うと、ハードディスクが故障として認識される場合があります。

2 留意事項

2.1 管理者権限以外での GAM クライアントの使用について

OS の管理者権限 (Administrator) 以外のユーザで GAM クライアントを使用した場合、GAM クライアント終了時に以下のエラーが出るがありますが、特に問題はありません。[OK] をクリックして GAM クライアントを終了させてください。



2.2 故障予測が発生しているハードディスクが故障した際について

故障予測 (SMART) が発生しているハードディスク (Critical 状態のハードディスク) が Dead となった場合、GAM

でハードディスクのステータスを見た際に、Critical の状態のまま表示されます。ハードディスクの故障については、イベントログ、ハードディスクキャビネットの Fault LEDをご確認ください。

2.3 WebBIOS でのハードディスクの容量表示について

WebBIOS のメインメニュー画面の「Physical Drives」エリアでハードディスクをクリックして表示される容量の情報 (Size) が 0MB と表示されます。各ハードディスクの容量を確認する場合は、メインメニュー画面で「Physical Drives」エリアに表示されている容量を参照してください。

2.4 ドライバのタイムアウト発生時の対処について

イベントビューアのシステムログに以下の内容のログが記録された場合は、サーバ上で GAM クライアントを起動し、RAID の状態を確認してください。

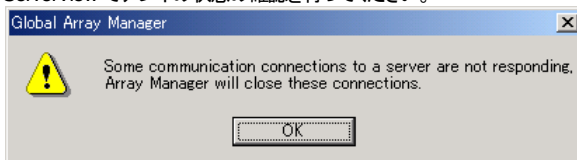
ソース:	mraid2k または mraid35x
イベント ID:	9
種類:	エラー
内容:	デバイス¥Device¥Scsi¥mraid*はタイムアウト期間内に応答しませんでした。

■GAM クライアントが正常に起動した場合

すべてのハードディスクが Online となっている場合は、ファームウェアのリトライにより復旧されるので、特に問題はありません。故障ハードディスクが存在した場合は、イベントログを確認し、そのログの対処方法に従ってください。

■GAM クライアントの起動時にエラーが発生する場合

GAM クライアントを起動した際、しばらく(数分程度)してから以下のようなエラーが出た場合、またはサーバに接続できない場合は、ServerView でアレイの状態の確認を行ってください。



[ServerView でのアレイの状態の確認方法]

1. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu ServerView」→「Fujitsu ServerView」の順にクリックします。
2. サーバの一覧画面から本製品の搭載されているサーバをダブルクリックします。
3. [外部記憶装置]をクリックします。
4. リストから「MegaRAID SCSI 320-2」を選択し、[デバイスの表示]をクリックします。

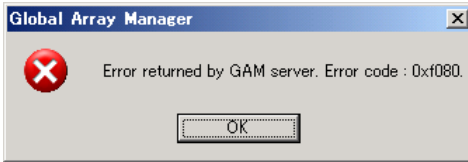
特定のチャネルに 1 台または複数台のハードディスクが赤色で表示されている場合(故障表示の場合)、SCSI バス上の異常が考えられます。担当保守員にご連絡ください。

2.5 ソース : gamevlog で記録される OS イベントログについて

本製品は、ServerView から通知される OS イベントログによってアレイを監視します。GAM から通知されるイベント(ソース:gamevlog)はサポートされませんので、gamevlog で記録されるイベントは無視してください。また、前後に ServerView によって通知された本製品用のログがある場合は、そちらのログを参照してください。ServerView によって通知されるログの一覧については、『SCSI アレイコントローラカード PG-142E3(MegaRAID SCSI 320-2)取扱説明書』の「付録 B. GAM エラーコード一覧」を参照してください。

2.6 User 権限で GAM にサインオンした際について

gamroot以外のユーザでGAMIにサインオンした際に、以下のエラーが表示されることがありますが、特に問題はありませので、[OK]を押してウィンドウを閉じてください。



2.7 ハードディスク活性搭載時に表示されるエラーについて

Patrol Read 処理実行中にハードディスクの活性での搭載(交換を含みます)を行うと、以下のエラーが通知されることがあります。

Log Information Viewer

S-34 A physical disk failed because SCSI bus reset failed.

イベントビューアのアプリケーションログ

ソース: Fujitsu ServerView Service

イベント ID: 3

種類: エラー

説明: A hard disk failed because SCSI bus reset failed.

本エラーが表示された際は、GAMとハードディスクキャビネットの Fault LED にて、エラーの発生したハードディスクの状態を確認してください。ハードディスクが Online の状態であれば、特に問題はありませ。

2.8 WebBIOS でアレイ構成を変更した際に実行される BGI について

すでにアレイ構成がある状態で、WebBIOS 上で追加ロジカルドライブの作成や既存ロジカルドライブの削除を行った際に、既存の初期化済みロジカルドライブにも BGI(バックグラウンド初期化)が実行される場合があります。なお、BGI は書き込み済みのデータを破壊することはないため、特に問題はありませ。

2.9 ServerView コンソールを使用する際の留意事項

ServerView コンソールご使用時の留意事項は以下のとおりです。

2.9.1 GAM クライアントの起動について

GAM クライアントを開いている状態で、ServerView コンソールから GAM クライアントを開こうとした場合（外部記憶装置画面の [設定] をクリック）、次のメッセージがポップアップされます。動作には問題ないので、本メッセージを閉じてください。

Can't write Profile for error #123 (ファイル名、ディレクトリ名、またはボリュームラベルの構文が間違っています。)

2.9.2 Linux のご使用について

Linux サーバにおいて、ServerView 上での本製品に接続されたハードディスクの情報の表示はサポートしていません（動作保証外となります）。

本製品に接続されたハードディスクの情報を参照する場合は、GAM を使用してください。

2.9.3 デバイスの表示について

本製品に接続されたデバイスの情報を参照する場合は、通常は GAM を使用してください。ServerView から本製品に接続されたデバイスの表示（外部記憶装置画面の [デバイスの表示] をクリック）は通常は行わないでください。

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MegaRAID、Global Array Manager、WebBIOS は、米国 LSI Logic 社の商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

All Rights Reserved, Copyright © FUJITSU LIMITED 2005